

社会資本整備審議会 道路分科会 九州地方小委員会（平成30年度第2回）

議事概要

1. 日 時

平成31年3月12日（火） 13:30～14:50

2. 場 所

福岡第二合同庁舎 2階 共用第5・6会議室

3. 出席者

〈委員長〉

辰巳 浩 福岡大学 工学部 社会デザイン工学科 教授

〈委員〉

大枝 良直 九州大学大学院 工学研究院 准教授

河西 宏 長崎都市経営戦略推進会議 推進役

戸田 順一郎 佐賀大学 経済学部 准教授

円山 琢也 熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター 准教授

吉田 まりえ 九州の暮らし創造研究所 代表

4. 議事内容

【審議結果】

○新規事業採択時評価

【一般国道220号（東九州自動車道）油津・夏井道路】

- ・事務局より、事業実施環境、事業概要、課題、効果等について説明。
- ・当該区間のB/Cは1.1となっているが、広域ネットワーク整備の観点より一体評価B/C 2.4が重要である。
- ・当該道路の整備による周辺道路や市街地への影響が懸念されるため、地域連携のあり方について検討することが重要である。
- ・一般国道220号（東九州自動車道）油津・夏井道路の新規事業化については、妥当である。

【一般国道57号（中九州横断道路）竹田阿蘇道路】

- ・事務局より、事業実施環境、事業概要、課題、効果等について説明。
- ・当該区間は標高が高く、冬季の路面凍結による事故等の発生が懸念されることから、道路計画の段階から安全な走行が確保される構造にする等の配慮が必要である。
- ・一般国道57号（中九州横断道路）竹田阿蘇道路の新規事業化については、妥当である。

【一般国道201号 八木山バイパス】

- ・事務局より、事業実施環境、事業概要、課題、効果等について説明。
- ・当該区間はボトルネックで課題が多いことから、早期整備をお願いしたい。
- ・現道及びバイパスも含め、事故対策等については、今後もしっかりと対応していただきたい。
- ・今回のケース（再有料化）を教訓に、償還期間満了に伴う無料化の是非については、引き続き検討いただき、今後の更なる道路行政の推進に努めてほしい。
- ・一般国道201号 八木山バイパスの新規事業化については、妥当である。

以上